

事業所名

児童発達支援事業所 さくら教室

支援プログラム

作成日

7

年

3

月

26

日

法人（事業所）理念		私たちは、みんなの権利が守られ、未来ある人生を自分で選び、幸せを追い求められるよう、共に行動します。					
支援方針		お子さんたちの「今」を見つめ、年齢だけでなく発達段階にあったちょうどよい活動を準備し、それを楽しみ、チャレンジをしながら、「未来」に向かってお子さん、保護者、支援者が共に成長していく姿を喜びあえる事業所を目指します。					
営業時間		9 時	30 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	保護者との情報交換を大切にしながら家庭の状況を把握し、連携して健康維持に努めます。 日課を通してお子さんに有用な生活技術、知識を習得が出来るよう工夫します。 活動の5W1H、それをしてから何をするのか、を具体的にわかりやすく示し、生活しやすく、見通し、達成感を持ちやすい環境づくりに努めます。					
	運動・感覚	粗大運動、微細運動を意識した活動を準備し、楽しみながら全身を動かす試みが出来るよう工夫します。 作業療法士、関係機関との連携を行い、専門知識を指導支援に活かします。					
	認知・行動	楽しみながら、事象の差異に気づけるよう、教材を工夫しながらお子さんに関わります。 発達段階や年齢を考慮しながら、お子さんが出来ることを広げる支援、本児が持っている力を発揮できる環境づくりをしていきます。					
	言語 コミュニケーション	言語聴覚士の助言を得る機会も持ちながら、利用児が言葉でのコミュニケーション能力の向上を目指せるよう支援をします。 意思の伝達手段を言語だけに止めず、いろいろなツールを利用する可能性を広げ、わかりやすく意思疎通できる工夫をします。 コミュニケーションの楽しさを味わえ、意思疎通の再現性を広げるような支援をしていきます。					
	人間関係 社会性	お子さんがスタッフと喜怒哀楽を共にし、信頼関係を深めながら社会性が育つよう工夫します。 お子さん同士、スタッフとお子さんが良好な人間関係を築けるようスタッフが仲立ちしたり、モデルを示したりしながら支援していきます。					
家族支援		面談やノートのやり取りなどで、支援内容を通して意見交換しながら、ご家族が安心してお子さんを支えていけるような環境づくりができるよう工夫します。			移行支援		関係機関との連携を密にとり、お子さん、家族が、次のライフステージで受ける支援に、安心して向かえるよう工夫します。
地域支援・地域連携		地域の関係機関と協力しながら支援が出来るよう、情報交換を密にしていきます。			職員の質の向上		職員が、OJTとOFF-JTにより、支援に必要な知識と技術を、バランス良く得られるよう工夫します。
主な行事等		運動会、りんご狩り、クリスマス会					